

## 「情報公開文書」

## 多機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

## 側頭骨グロームス腫瘍の臨床的特徴と治療に関する後ろ向き研究

## 1. 研究の対象

2010年1月1日から2023年6月30日までの間に、東海大学医学部付属病院および東海大学医学部付属八王子病院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科で側頭骨グロームス腫瘍の手術を受けられた方でフォローアップ期間が6か月以上あった方。

## 2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2025年9月30日 まで

25.328

## 3. 研究目的・方法

目的：

下記の診療情報等を利用し、側頭骨グロームス腫瘍の臨床的特徴と治療について解明することを目的とした研究を実施するため、東海大学医学部付属病院および東海大学医学部付属八王子病院において側頭骨グロームス腫瘍の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに臨床情報のデータを選び、治療内容に関する分析を行い、その関連性について調べます。

方法：

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用

します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

また、本研究で得られた情報を第三者へ提供、または将来の研究に使用する可能性があります。その際は、改めて倫理審査委員会の承認と施設長の許可を得て実施します。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：該当なし
- ・ 情報：診断名、年齢、性別、鼓膜所見、症状、検査結果（画像診断による腫瘍の進展度の確認）、治療内容（手術アプローチ、術中出血量、聴力再建手術の有無）、再発の有無、術前の血管塞栓術の有無。

#### 5. 研究組織

上記の情報を共同研究実施のために東海大学医学部付属病院に対して提供します。

主な提供方法：電子的配信

##### 研究代表者

東海大学医学部専門診療学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 濱田 昌史

##### 共同研究機関および研究責任者名

東海大学医学部付属病院

東海大学医学部専門診療学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 濱田 昌史

東海大学医学部付属八王子病院

東海大学医学部専門診療学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授 酒井 昭博

#### 6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

#### 7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2370）

研究責任者 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 濱田 昌史

問い合わせ担当者 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 濱田 昌史

東海大学医学部付属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5115）

研究責任者 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 酒井 昭博

問い合わせ担当者 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 山本 光